

OpenLab CDS ChemStation Edition から OpenLab CDS へのワークステーションの データマイグレーション

概要

OpenLab CDS のバージョン 2.2 以降にはマイグレーションツールが付属しており、OpenLab CDS ChemStation Edition バージョン C.01.05、C.01.06、C.01.07 から、データ、機器情報、ユーザー情報を移すプロセスを自動化できます。このツールを使用すると、およそ 4 時間かかる手作業でのデータマイグレーションが 30 分未満に短縮されます。

マイグレーションツールの使用によって可能になる作業:

- OpenLab CDS Chemstation Edition のデータと分析結果を OpenLab CDS のワークステーションで再利用する
- 化合物の同定設定や積分イベントをはじめとする OpenLab CDS Chemstation Edition のメソッドを OpenLab CDS にインポートして再利用する
 - o OpenLab CDS バージョン 2.2 を使用している場合、メソッドのインポートは手作業
- 次のユーザーと機器の情報の転送を完了する
 - o ユーザー、ユーザーグループ、ロール、権限
 - o 機器の構成
- エクスポートの詳細と OpenLab CDS へのマッピング方法に関する一連のレポートを作成する

データマイグレーションステップ

- 1. 計画ステップ:** 機器とドライバの互換性が検証され、PC のオペレーティングシステムとソフトウェアバージョンが確認されます。
- 2. エクスポートステップ:** 生データ、結果データ、共有サービス情報、機器の構成、ユーザーロールが、USB ドライブまたはネットワークに接続されたロケーションにエクスポートされます。次のファイルが含まれる Export Destination フォルダが作成されます。
 - a. Agilent ChemStation ソフトウェアのデータ (ChemStation Export.zip)
 - b. ChemStation Export zip パッケージの中にある OpenLab CDS ChemStation Edition のエクスポートに含まれるすべてのファイルのレポート (Export_file_report.pdf)。
 - c. 機器情報のレポートを含むレポート (Instrument Configuration Report.html)。
 - d. セキュリティ、認証、ロール、管理情報、機器の構成など、ユーザーと権限に関するデータ (OpenLabSharedServicesExport.zip)。
 - e. インポートマッピングファイル(Package.descriptor.xml)。
 - f. ユーザーロール情報を含むレポート (Role Report.html)。
 - g. ユーザーとグループを含むレポート (User and Group Report.html)。
- 3. インポートステップ:** 新たにインストールされた OpenLab CDS ワークステーションに、エクスポートロケーションからデータがインポートされます。次のタスクが実行されます。
 - a. 各機器に対し、サブプロジェクトを持つデフォルトのプロジェクトグループを作成。
 - b. ステージングロケーション経由で、OpenLab CDS にデータを抽出。
 - c. OpenLab CDS ChemStation Edition と一致するように、ユーザー、グループ、ロールを作成。
 - d. OpenLab CDS ChemStation Edition と一致するように、アクティブな機器を作成。

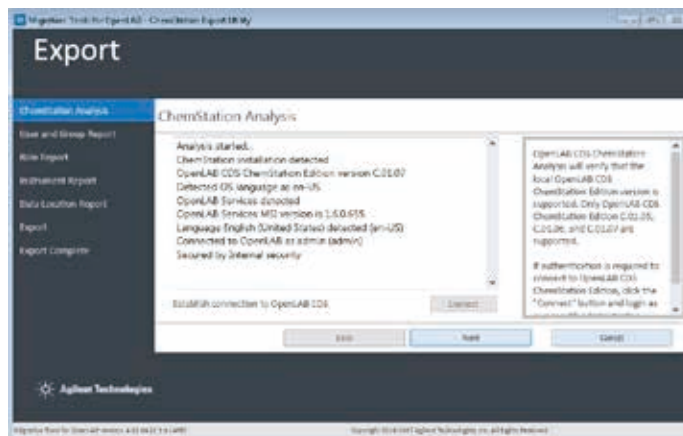


図 1. マイグレーションツールが起動すると、Agilent ChemStation ソフトウェアのサポート対象バージョンがソースワークステーションに存在するかどうかを確認されます。

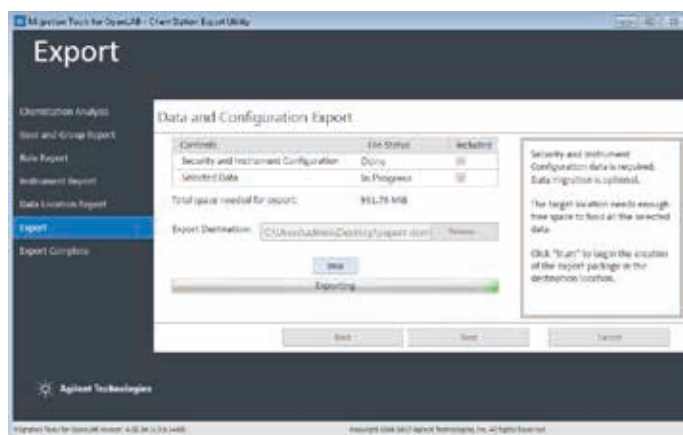


図 2. エクスポート時間は、エクスポートされるデータ量によって異なります。

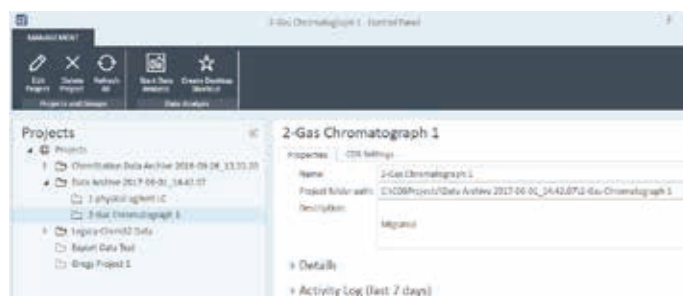


図 3. インポートステップでは、OpenLab CDS の新しいプロジェクトグループの下にデータがマイグレーションされます。各機器のフォルダがプロジェクトとして設定され、すべての結果セットがこのプロジェクト構成に移動されます。

互換性

マイグレーション元	マイグレーション先
OpenLab CDS ChemStation Edition <ul style="list-style-type: none">- ワークステーションのみ (Secure Workstation は対象外)- バージョン C.01.05、C.01.06、C.01.07- Windows 7、8- データ解析アドオンはサポートされません- OpenLab CDS バージョン 2.2 を使用していて、データのロケーションがデフォルトのロケーション (C:\Chem32) でない場合は、ロケーションを特定し、ソフトウェアにそのロケーションを指定する必要があります。OpenLab CDS バージョン 2.3 では、すべてのデータロケーションが自動的に検出されます。	OpenLab CDS <ul style="list-style-type: none">- ワークステーションのみ (Workstation Plus は対象外)- バージョン 2.2、2.3- Windows 7、8、10- 注意: 初期インストールでは認証は構成されません。認証はマイグレーションツールによって構成されます。

ご利用について

マイグレーションツールは OpenLab CDS USB ドライブで提供されます。また、Agilent SubscribeNet から無料で入手することもできます。

このツールは、英語、日本語、中国語、ブラジルポルトガル語で提供されています。

詳しくはこちら

お近くのアジレント販売店までお問い合わせいただくか、次のサイトをご覧ください

www.agilent.co.jp/chem/openlab

ホームページ

www.agilent.com/chem/jp

カスタムコンタクトセンター

0120-477-111

email_japan@agilent.com

本製品は一般的な実験用途での使用を想定しており、医薬品医療機器等法に基づく登録を行っておりません。本文書に記載の情報、説明、製品仕様等は予告なしに変更されることがあります。

アジレント・テクノロジー株式会社
© Agilent Technologies, Inc. 2018
Printed in Japan, May 30, 2018
5991-9464JAJP